

進路だより

平成25年12月24日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第2号

☆後期体験実習

高等部2年生は、後期実習期間に合わせて26名が企業や守口・門真市内の福祉事業所に分かれて校外での体験実習に出ました。

Bコース(職業自立コース)の生徒は企業での体験実習を2週間行いました。事前に家庭の協力を得て自宅から実習先までの公共交通機関の利用を練習し通勤しました。前期に体験実習を経験済ということもあり、しっかりと取り組むことができ、手ごたえを感じる事ができたようです。実習先は、エルアイ武田・トヨタカローラ大阪・奥村機械・キンギ寝具・イズムです。

Aコース(生活自立コース)の生徒にとっては初めての体験実習となりますので、事前学習として挨拶の仕方や作業時間の確認、そして実習日誌の記入の仕方を学習しました。当日は、学校からスクールバスで実習先に行き、主に軽作業やレクリエーション活動等を1日体験しました。どの事業所も、先輩が居て、利用者の方から温かく迎えられたことで、過度の緊張をすることなく実習を体験することができました。

実習先はジェイ・エス守口、桜の園、ひだまり、ジェイ・エス ステージB、第3ジェイ・エス ステージ、グレース工房です。また、2日間の実習を行った京阪百貨店では、「いらっしゃいませ」という挨拶に必要な笑顔、発声、お辞儀の角度等の練習から始まり、箱折りの後、直接売り場の店員さんからハンカチのパッケージ指導を受け、「働く」ことについて身近に体験する事ができました。

校外での実習は、とても緊張感を伴うものとなりますが、やり遂げることで大きな自信と意欲につながります。彼らにとって、貴重な体験となりました。

☆施設見学(交野自立センター)

後期校内実習中に高等部1年生は初めての取り組みとして、交野自立センターに行ってきました。企業就労を目指すグループと福祉就労を目指すグループの2班に分かれて見学をさせていただきました。事業所の活動の様子を見学することで、卒業後の社会参加のイメージを掴み、今後の学習に結び付けることを目的として今回の活動を実施しました。係の方にくわしく説明をしていただきました。真剣にメモを取りながら話を聞くことができた生徒もいました。各部屋に入る時や出る時にきちんと挨拶していました。今回の学習では一人ひとりが様々なことを感じたことと思います。とても有意義な時間を過ごすことができました。



☆支援教育企業表彰 株式会社まむ多 & 株式会社エルアイ武田

門真市の株式会社まむ多と大阪市内の株式会社エルアイ武田(武田薬品工業株式会社の特例子会社)が本校の推薦により、大阪府教育委員会から平成25年度支援教育サポート企業表彰を受賞されました。

両社共に本校高等部で取り組んでいる職場・体験実習の受け入れにご協力を頂き、毎年2~3名がお世話になっています。実習でお世話になる生徒達は2年生なので、まだまだ経験不足で様々な課題を抱え、「これからチャレンジ!」という生徒達です。温かく受け入れ、育てて頂きながらも、企業サイドの現場目線から、より実証的なきびしい指導・支援も頂いています。生徒達は、校内での学習だけではなくなかなか掴みきれない企業現場の雰囲気、求められる姿勢・マナー・スキルなど、多くのことを学んで帰ってきます。

このように企業と支援学校が日常的に連携を図りながら学習を展開していく成果として、毎年、約3割弱の生徒達が随分者雇用制度を利用しながら企業に進路をとっていていることは本当に有り難いことだと感謝しています。

保護者の皆様からの「企業開拓情報」も、お待ちしております!



エルアイ武田、表彰式当日

☆同窓会

11月10日(日)、秋の同窓会が行われました。同窓生・保護者、教員を合わせて100名を超える参加がありました。会長のあいさつの後、みんなで、お弁当やお菓子を食べました。途中でそれぞれに近況報告をしてもらいました。

今回の企画は、保護者の方にも参加してもらった「クイズ大会」。昨年度、授業で行っていた「フロアホッケー」。そして、みなさんお楽しみの「ビンゴゲーム」をしました。たくさんの笑い声や、クイズに正解した喜びの声などが体育館に響き渡りました。最後は「ビンゴゲーム」です。数字が発表されるたびにワクワクドキドキ。あちこちから「ビンゴ〜!!」の声。景品をもらった人々は笑顔満面でした。

ゲームで盛り上がった後、全員で写真撮影をし、次回の再開を約束して閉会しました。



昼食のひととき



みんなそろって記念撮影

☆PTA施設見学会

秋の施設見学会は保護者からの希望をもとに行っています。今回は寝屋川市池田北町にある「生活介護事業所ふたば」を見学しました。見学者は13名でした。

京阪寝屋川市駅のバス乗り場に集合し、バスに乗車して大間口まで約15分、事業所はバス停のすぐ前にありました。

事業所の内装は新しく明るい雰囲気の建物でした。1階の作業場では利用者の方が業者から委託された軽作業をされていました。トイレが車椅子の方もゆったりと使えるよう広く作られていたり、休憩するスペースもあってあったり、ゆとりを感じるように作られていました。

見学の後、2階の多目的スペースで事業所の説明をしていただきました。施設長の宮野さんは福祉の事業所を経営される一方で、支援学校に通う生徒の保護者でもあります。お子様の支援学校卒業後のことを想定し、障がい者の事業所の開所を目標に福祉の仕事の経験を積み重ねて来られました。そして平成24年2月に株式会社形式でこの事業所を開所されました。

守口市、門真市在住の方は送迎可能なエリアもあるので、体験を兼ねて日中一時事業を利用して下さいとのお話がありました。

見学会の後は事業所で作っているクッキーやケーキの販売があり、見学された方はみなさん笑顔で購入了っていました。

次回の見学会は2月4日(火)私の太陽農園を予定しています。



【保護者の感想】

生活介護事業所ということだから私の息子は(B型になるであろうと勝手に思い込んで)縁があるとしたら日中一時かな?と軽く見学に望みました。

実際見学をして、あれっここB型?と思う程皆さんそれぞれののびのび作業をされている所でした。作業から働く希望がわいてくるようにご指導されているのがよくわかりました。もちろん地域に根付くつながり、余暇も充実されていてトイレも広く設備もきれいに整えられていて好感がもてました。

代表の方のお考えや思い、パワーも感じられ、ここまでされるのには相当の努力や苦勞なこともあったらなあ~と思いました。軽い気持ちで見学に望みましたがとても勉強になり、いろいろな所へ行って感じて考えるのも、障がいの子を持つ母として成長させてもらえるのだなあ~とつくづく感じました。

代表者である宮野さんが、同じく障がいのある子どもを抱える親ということもあり、話聞いて元気をもらった感じになりました。とても明るくパワーのある方で、自身も障がいのある子どもさんを育てているので、利用者さんやその家族さんと一緒に考えながら愛情をもった支援をして下さるんじゃないかなあ~と思いました。

設備面や仕事(作業)だけでなく取り組み内容も良かったです。その取り組みの一部、手作り焼き菓子もいただきましたが、しっかりとしたもので大変おいしかったです!!

☆PTA進路講演会

急に寒さが厳しくなった12月12日(木)10時より、PTA進路講演会を行いました。

今回の講師は平成20年度守口支援学校高等部卒業生の保護者を2名お招きしました。福祉の事業所や企業で社会人として働きながら過ごされているお子様の生活について語っていただきました。

仕事の内容や毎日の過ごし方、就労移行の事業所で実習を重ねながら保護者と共にハローワークに通ったこと、福祉の事業所に自転車で通う時のエピソードや、企業に就職するまでのお話や給料や工賃の使い方、余暇の楽しみ方等々をお話していただきました。

企業に就職してからも、上司の方と保護者でメールのやり取りをして本人の様子を伝えていることや、本人の楽しみを尊重し、毎日近くのスーパーで買い物をしていること等、社会人になってからも保護者として日々気を配ってお子様を支援しておられる様子が伝わってきました。

何より本人が喜んで通えるところを進路先という点は、福祉の事業所も企業にも共通していることだと思いました。



【保護者アンケートより】

とても参考になりました。保護者は子供の人生設計について、コーディネーターの一員として情報収集したり助言を聞いたり、進路を決めていく時、その子に合ったところや条件を考えていったりすること等、本当に勉強になりました。

進路を考えていく上で、親が見ている子供の姿と、学校やハローワーク等で評価される子供の能力は確かに違うと思うので、どういう所(福祉事業所や会社)がいいか、本人に合うかどうかを推し量るのは難しそうです。就職しても親はノータッチではなく、本人の体調や気分を上司に伝えて、本人と会社の間を取り持つ日々の努力が大切なのですね。

進路を考えられて、迷うけれど、ずっと同じ所じゃなくてもいいという、視野を広げた考え方にホッとするような気がしました。先輩方のお話は、とても身近に感じてよかったです。

☆ご購入ありがとうございました。

「もりもりギフト」は守口市内の福祉事業所で働く障がい者のみなさんが、心をこめて制作している品々です。今回の冬のギフトは、高等部の保護者の方とPTAの役員の方にお知らせして購入していただきました。ご協力ありがとうございました。